

No.	13-2-1	場所	大鹿村 大西山	次世代への継承キーワード
名称	大西山の崩壊状況			災害現象理解
災害現象	斜面崩壊			河川 小渋川
補足事項				支流

大西山（標高一七四メートル）は下伊那郡大鹿村と豊丘村の境界で、天竜川水系の小渋川と青木川の合流点付近に位置する。

最大の災害である大西山の大崩落は、六月二十九日午前九時十分頃に突発した。原因は第一に地質構造、第二に豪雨が関係している。

●体験談①：災害当時、大鹿村在住
 ＊大崩壊の前の一度目の崩壊について「29日の朝（中略）8時過ぎだったと思います。突然、大西山の赤い土が落ちてきて、一角が落ちました。」
 ＊大崩壊について「＜29日9時過ぎ＞大西山の全体がぐらぐらと動き出し、一部霧がかかった様に見えた。それから全体が動き出し、砕けて下へ突き刺した。」（「大西山崩壊と大鹿村の復興」p.7.9）

●体験談②：災害当時、大河原中学校2年
 「＜崩壊土砂が＞たちまちあの広い島河原の田畑をうめ一番先に建設省をマッチ箱を人間がつぶすようにつぶして白河屋旅館から下全部流してしまいました。」

●体験談③：災害当時、大河原中学校1年
 「「ゴオーッ！」ともものすごい音がしたのでいって見ると、大西山が狂い出した怪物のように、あのきみどり色にいろづいた田をみるみるうちにうめつくしてしまった。（中略）避難者がありこの行列のように高い所へ高い所へと上ってきた。」

●体験談④：災害当時、大河原中学校3年
 「それは映画で見た黒部ダム建設工事現場のダイナマイトの爆破のようだった。」（②③④「続・濁流の子」p.8.9）

記 録



大西山の大崩落の瞬間



大西山の崩落現場



崩落の傷がまだ生々しい
崩落後の大西山。
手前は大河原中学校

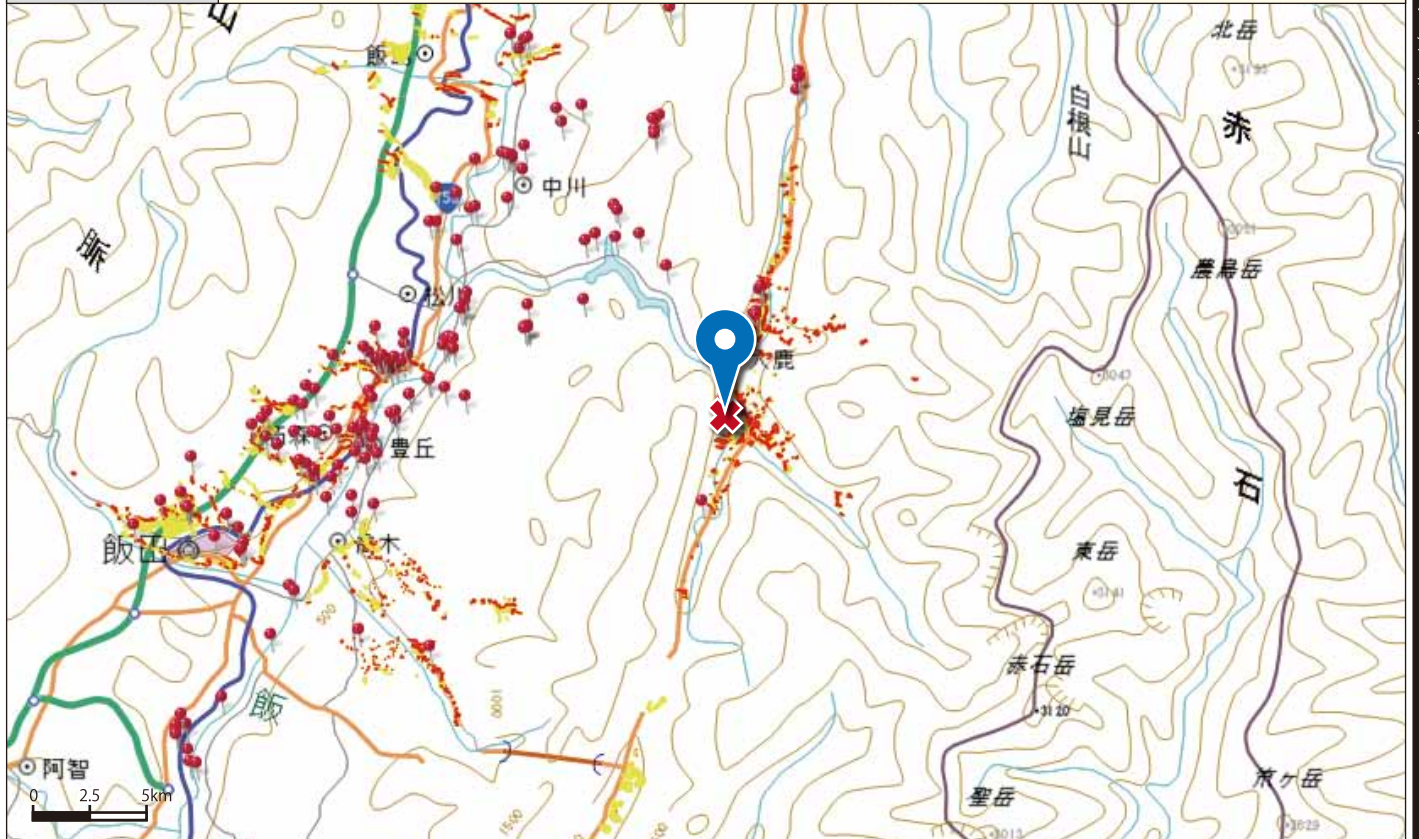
出典 「大西山崩壊と大鹿村の復興」p.7、9/「続・濁流の子」p.8、9、12

備考

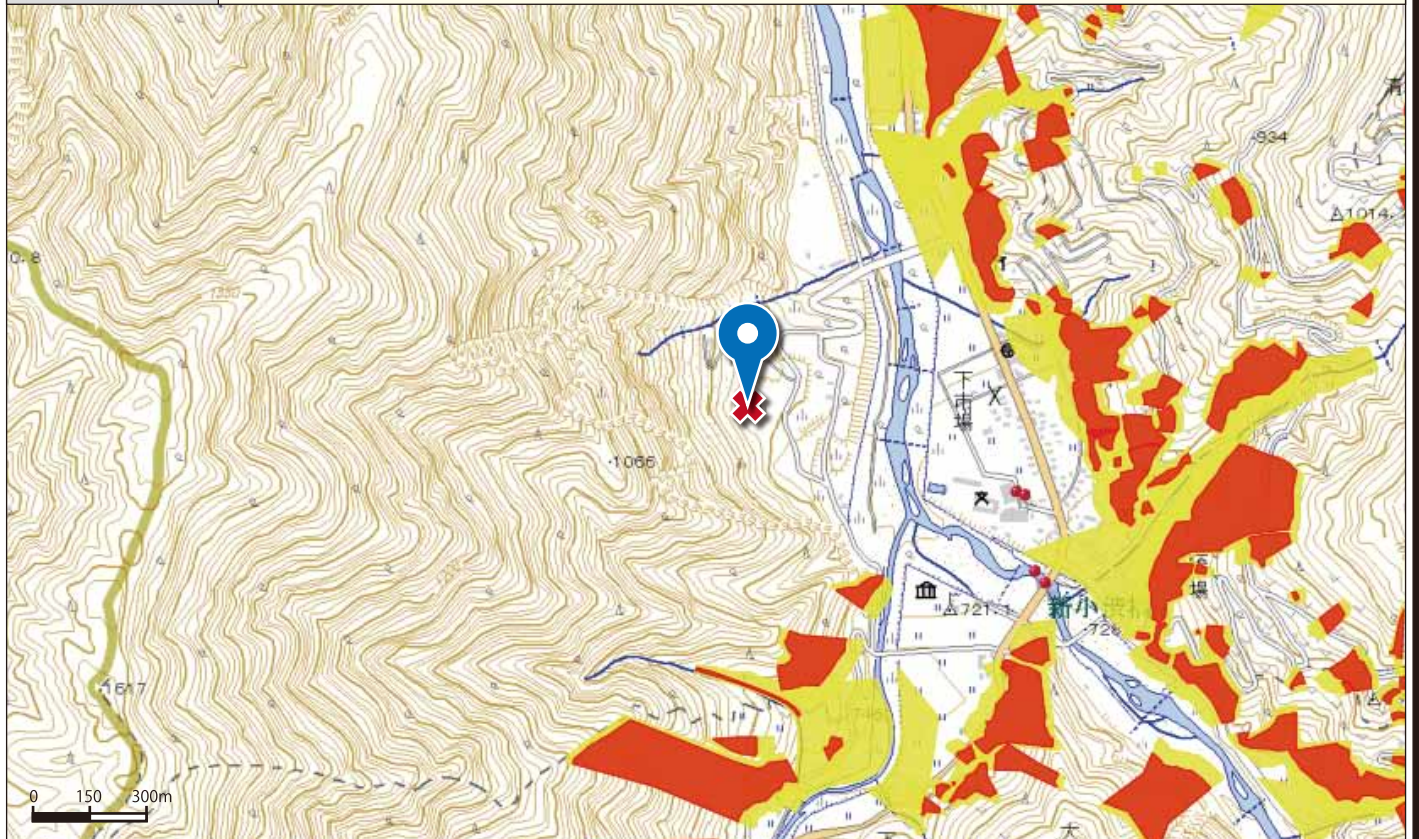
No.	13-2-1	場所	大鹿村 大西山	緯度	35.560475
-----	--------	----	---------	----	-----------

名称	大西山の崩壊状況	経度	138.033171
----	----------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---